

# 2021年9月 定例観察会報告書

KSC 野鳥と自然観察会代表 奥井雅晴

日時	2021年9月23日(木) 10:00~12:30	報告者：三木 享
探鳥地	菊水山	天候：晴れ
参加人数	26期6名、27期7名、28期11名	顧問・相談役3名 総計27名
観察コース	菊水山 NTT 管理道路入口から菊水山の自動車道を登る	
観察概要	<p>最初に堀池顧問より概要説明があった。「今日の主役は、タカ類(サシバ・ハチクマ)です。山形や奥羽山脈から東南アジアに渡る時に、長野の白樺峠経由で同峠からほぼ真っすぐに飛行して来て、菊水山周辺から淡路、四国、九州さらに島づたいに南へ渡って行く。30~50km/hrの速度で飛行する。3日前は、菊水山で600羽程の渡りが見られた」とのこと。鳶とタカ類の見分け方の説明を聞き、期待に胸を膨らませて出発する。</p> <p>登山途中は、ツクツクボウシの鳴き声ばかりで、小鳥の鳴き声は少なかった。カラスザンショウ、イヌザンショウやアカメガシワなどの実を観察し、鳥の食性についての説明を聞き、その実を味わう人もいた。また、桂の木の落葉が発酵し、付近にパンやクッキーの香りが漂っていることを知った。クサギの木の葉は悪臭がするとのこと。ヒヨドリバナ、シラヤマギクなどが花盛りで、ソウムシ類、ホタルガ、ハナムグリ、スズメガの幼虫などを観察した。また、ヒヨドリバナにはアサギマダラが来るとのことであった。ハイイロチョッキリは、コナラに卵を産み付け小枝を切り離し地面に落下させるとのことで、コナラの実を切断し卵を観察した。途中では観察会常連のメジロ、ヒヨドリ、キジバトなどを確認し、菊水山山頂に到着した。山頂展望台には、既に望遠カメラを据え、待機中の人たちが10名程度、周辺には登山目的のハイカーが同程度と賑わっていた。</p> <p>私たちが広場で暫くはタカ類の渡りを期待し待っていたが、現れなかった。このため、今日の鳥合わせをして、解散した。</p> <p>素晴らしい神戸の景色を見ながら昼食をし、さらに暫くタカの渡りを待ち、ようやく1羽観察できた。</p> <p>なお、下山途中でコゲラのドラミングに遭遇し、良い土産話になった。</p> <p><b>【目視できた鳥】ハチクマ、トビ、キジバト、ハクセキレイ、イソヒヨドリ、カワラヒワ、メジロ、ヤマガラ、ヒヨドリ、スズメ、ハシブトガラス (11種類) + (番外)コゲラ</b></p> <p><b>【声を聞いた鳥】アカゲラ、カケス (2種類)</b></p>	
感想	<p>絶好の秋日和で、気持ちよく森林浴ができましたが、タカ類の渡りの最盛時に行き会うことの難しさを実感しました。また、鳥合わせをすると、自分が観察出来ない鳥の多いことを痛感します。今回は、昆虫、草木と新しい知識が増えました。</p>	
次回予定	<p>次回例会は月10日23日(土) 菊水山(ムギマキ・キビタキなど)です。詳細は後日連絡いたします。</p>	



顧問から出発前の概要説明を受ける

ヒヨドリバナ

アカメガシワ

シラヤマギク

ドラミング中のコゲラ